

2025 年度

大阪大学大学院工学研究科

博士前期課程 推薦入学特別選抜  
学生募集要項

<2025 年 4 月入学>

2024 年 1 月

# 目 次

## 【工学研究科アドミッション・ポリシー】

1. 募集人員	1
2. 出願専攻・コースについて	2
3. 出願資格	3
4. 予備審査	5
5. 出願手続	7
6. 検定料	7
7. 出願書類	11
8. 入学者選抜	14
9. 合格者発表	15
10. 入学料及び授業料・入学手続	15
11. 試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先）	16
12. 個人情報の取扱いについて	17
13. 注意事項	17
14. 講座・領域等一覧表	18

本募集要項の掲載内容に変更がある場合は、本研究科ホームページの大学院入試情報  
( [https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions/](https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/) ) において随時公表します。

## 【工学研究科アドミッション・ポリシー】

工学研究科では、自然と人類との調和を図り、真の豊かさを持つ安心及び安全な社会の実現を目指し、真理の探究と社会に貢献するモノづくりを通じて科学技術立国としての未来の発展に資することを使命とし、それに応えることのできる創造性豊かなリーダーとなる工学研究者・技術者の育成を図ることを目的としています。

### <博士前期課程>

#### 【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学研究科では、人類社会の持続的発展のために独創的な科学技術の進歩に貢献し、高い倫理観を持ってその恩恵を国際社会に還元したいという強い意欲と向上心に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 専攻分野における基礎的・専門的な知識並びに技能
- (2) 主体的に問題に取り組み、課題解決のために論理的な考察を行う能力
- (3) 自らの考えを的確に伝えるための表現力や討論する能力
- (4) グローバルなコミュニケーションに必要な英語力

#### 【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を求めるために、一般選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜、推薦入学特別選抜、留学生を対象とした外国人留学生特別選抜及び英語による学位取得コースの入学試験を設けています。

#### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜及び学部3年次学生を対象とする特別選抜においては、学力試験（筆記試験及び口頭試問）の成績及び出願書類の選考結果を総合して（1）～（4）の能力を評価します。
2. 推薦入学特別選抜においては、研究能力に特に秀でた学生を国内外から広く受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するために、学力試験の成績及び出願書類の選考結果を総合して（1）～（4）の能力を評価します。
3. 留学生を対象とした外国人留学生特別選抜及び英語による学位取得コースの選抜においては、研究能力に特に秀でた学生を国内外から広く受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するために、学力試験の成績や出願書類の選考結果を総合して（1）～（4）の能力を評価します。



## ○推薦入学特別選抜の趣旨

大阪大学大学院工学研究科では、研究能力に秀でた学生を受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するため、本研究科博士前期課程に推薦入学特別選抜制度を設けています。

## 1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
生物工学専攻	生物工学コース	若干名
	産学官共創コース	
物理学系専攻	精密工学コース	若干名
	応用物理学コース	10名程度
	産学官共創コース	若干名
機械工学専攻	機械工学コース	40名程度
	産学官共創コース	
マテリアル生産科学専攻	マテリアル科学コース	若干名
	生産科学コース	
	産学官共創コース	
電気電子情報通信工学専攻	電気工学コース	若干名
	情報通信工学コース	
	量子情報エレクトロニクスコース	
	イノベーションデザインコース（産学官共創コース）	
環境エネルギー工学専攻	環境工学コース	10名程度
	エネルギー量子工学コース	10名程度
	産学官共創コース	若干名（注8）
地球総合工学専攻	船舶海洋工学コース	10名程度
	社会基盤工学コース	10名程度
	産学官共創コース	若干名
ビジネスエンジニアリング専攻	ビジネスエンジニアリングコース	若干名
	産学官共創コース	若干名

（注1）産学官共創コースを志願する場合でも、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースの各注意事項（以下注2~10）があてはまりますので、当該コースにおける次の注意事項を必ず事前に確認してください。また、出願前に、コースのホームページを確認し、産学官共創講座事務局に連絡を取ってください。

（注2）生物工学専攻を志望する場合には、出願前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。詳細は、次のホームページを参照してください。

生物工学コース URL : <https://www-bio.eng.osaka-u.ac.jp/>

（注3）応用化学専攻は、推薦入学特別選抜を行いません。

（注4）物理学系専攻応用物理学コースは、本工学部応用自然科学科応用物理学科目応用物理学コース在籍者は出願できません。また、出願前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。詳細は、次のホームページを参照してください。

応用物理学コース URL : <http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/>

(注5) マテリアル生産科学専攻を志願する場合には、予備審査申請前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。詳細は、次のホームページを参照してください。

マテリアル科学コース URL : <http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp>

生産科学コース URL : <http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp>

(注6) 電気電子情報通信工学専攻を志望する場合には、予備審査申請前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。

(注7) 環境エネルギー工学専攻を志望する場合には、予備審査申請前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。

(注8) 環境エネルギー工学専攻の産学官共創コースの若干名の募集人員は、各コースの募集人員に含まれます。

(注9) 地球総合工学専攻は、船舶海洋工学コース及び社会基盤工学コースでは推薦入学特別選抜を行います。建築工学コースでは推薦入学特別選抜を行いません。

(注10) ビジネスエンジニアリング専攻を志望する場合には、予備審査申請前に指導を希望する研究室の担当教員と研究テーマなど入学後の活動について相談してください。

## 2. 出願専攻・コースについて

(1) 出願は1専攻(コース単位で募集を行う専攻は1コース)に限ります。

各専攻はコース単位で募集を行うので、出願書類の志望専攻・コース名欄に**専攻・コース名**を記入してください。

**【産学官共創コースについて】** (※電気電子情報通信工学専攻は除く)

産学官共創コースとは、工学研究科と共同研究講座(※1)/協働研究所(※2)等が協力し、これまでの大学院教育に産学官共同研究活動(インターンシップ・オン・キャンパス)を取り入れ、大学院生が産学官共同研究に関わることのできるコースです。研究室は各専攻内の既存の研究室に配属となり、志望する場合は願書提出前に受入に関する事前相談(※3)をし、了承を得ておくことが必要になります。

※1 共同研究講座：外部の企業等からの出資により、大阪大学内に設置された研究室規模の研究組織。

※2 協働研究所：外部の企業等からの出資により、大阪大学内に設置された研究所規模の研究組織。

※3 事前相談の問合せ先：産学官共創講座事務局([creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp))

産学官共創コースホームページ：<http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/>

### 3. 出願資格

#### 【日本人・在留資格「永住者」、「特別永住者」、「定住者」】

日本国籍を有する者又は在留資格が「永住者」、「特別永住者」、「定住者」のいずれかである者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び2025年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

#### 【外国人】

※本研究科の専攻長、受入予定指導教員の下承が必要です。

※入学時に在留資格が「留学」であることを条件とします。

日本国内に在住する日本国籍を有しない者及び在留資格が「永住者」、「特別永住者」、「定住者」のいずれかではない者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び2025年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者

(注1) 在留資格が「永住者」、「特別永住者」、「定住者」又は「留学」以外であり、入学時に在留資格を「留学」に変更

しない者が出願を希望する場合は本研究科教務課入試係（以下「入試係」という。）へ問い合わせてください。

(注2) 【日本人・在留資格「永住者」、「特別永住者」、「定住者」】の出願資格(5)、(7)、(8)及び【外国人】の出願資格(3)については、工学研究科ホームページの「大学院入試情報」を参照してください。なお、【外国人】の出願資格(3)は【日本人・在留資格「永住者」、「特別永住者」、「定住者」】の出願資格(7)と同じ資格です。

工学研究科ホームページ URL : [https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions/](https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/)



## 4. 予備審査

志望する専攻・コースによっては事前に予備審査を受ける必要があり、その合格者のみが出願できます。産学官共創コースの志願者も、入学後に配属を希望する研究室が所属する専攻・コースが予備審査を行う場合、予備審査を受ける必要があります。

### (1) 予備審査を行う専攻・コース

次に示す専攻・コースでは、予備審査を行います。

生物工学専攻、機械工学専攻<sup>※1</sup>、マテリアル生産科学専攻、電気電子情報通信工学専攻、環境エネルギー工学専攻、地球総合工学専攻船舶海洋工学コース<sup>※2</sup>、地球総合工学専攻社会基盤工学コース<sup>※3</sup>、ビジネスエンジニアリング専攻

- ※1 機械工学専攻は、本学工学部応用理工学科機械工学科目機械工学コース在籍者以外の者に予備審査を実施します。
- ※2 地球総合工学専攻船舶海洋工学コースは、本学工学部地球総合工学科船舶海洋工学科目船舶海洋工学コース在籍者以外の者に予備審査を実施します。
- ※3 地球総合工学専攻社会基盤工学コースは、本学工学部地球総合工学科社会基盤工学科目社会基盤工学コース在籍者以外の者に予備審査を実施します。

予備審査を行わない専攻・コース

物理学系専攻

### (2) 予備審査申請

予備審査を行う専攻・コースを志願する者は、受付期間内に次の書類を持参又は必着するように郵送してください。

#### ① 予備審査申請書類（「7. 出願書類」の注記も参照してください。）

書 類	内 容
1. 予備審査申請書（様式 1）	所定の様式に所要事項を記入してください。
2. 履歴書（様式 2）	所定の様式に所要事項を記入してください。
3. 志望理由書（様式 3）	所定の様式に所要事項を記入してください。
4. 推薦書又は自己推薦書 （様式 4 又は様式 5）	推薦書（様式 4）に、所属の長等、出願者を熟知している者が記入し提出してください（受入側教員の推薦は認められません）。 なお、推薦書が得られない場合にあっては、自己推薦書（様式 5）に自己を推薦する理由を書いて提出してください。 ※推薦書（様式 4）については、工学研究科 HP に掲載の Word データでも作成できますが、様式は変更しないでください。
5. 研究希望調書（様式 6）	所定の様式（A4 版 2 枚）に所要事項を記入してください。
6. 希望講座・領域等調書（様式 7）	「14. 講座・領域等一覧表」から、希望講座等を選択して所定の様式に記入してください。 ※産学官共創コースを志願する場合、「希望講座・領域等調書（様式 7）」には入学後に配属を希望する研究室が所属するコースの希望講座・領域等を記入してください。併せて、産学官共創コースのホームページ（ <a href="http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/">http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/</a> ）に掲載の産学官共創コースにおける志望領域の申請書を提出してください。 ※電気電子情報通信工学専攻イノベーションデザインコース（産学官共創コース）の志願者は「希望講座・領域等調書（様式 7）」のみを提出してください。

7. 出願承諾書（様式8） ※日本人又は在留資格「永住者」は提出不要	外国人留学生として入学予定の者は受入予定指導教員及び専攻長に記入してもらってください。
8. 成績証明書	最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。また、高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。 大学3年次編入学した者は、編入前に在籍した教育機関の成績証明書も併せて提出してください。ただし、本学工学部に3年次編入学し、卒業または在籍している場合は本学の成績証明書のみ提出してください。 ※大学院を修了又は修了見込の者は、大学院の成績証明書に加えて、大学学部時代の成績証明書も提出してください。 ※偽造防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要
9. 卒業（見込）／退学証明書	出身大学長又は学部長の発行した卒業（見込）証明書を提出してください。最終出身学校を退学した場合、退学証明書及び直前の出身学校の卒業証明書を提出してください。 ※卒業見込証明書が所属大学でまだ発行できる時期でない場合は、代わりに在学証明書と、いつから発行できるか確認できる書類（所属大学の事務が発行する発行時期に関する説明文書や、大学HPで発行可能開始時期について記載された箇所の印刷等）を提出してください。加えて、発行ができるようになり次第速やかに提出してください。
10. 学士の学位授与（予定）証明書 ※出願資格（2）以外の者は提出不要	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。なお、大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、在籍する教育機関の長の学位授与申請予定証明書を提出してください。
11. 在留カード（両面）の写し ※日本人は提出不要	日本国籍を有しない外国人志願者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面をA4サイズ用の紙にコピーして提出してください。
12. パスポートの写し ※日本人は提出不要	顔写真、氏名、国籍が記載されたページの写しを提出してください。
13. 連絡受信先ラベル ※本学工学部在籍者は提出不要	所定の様式に所要事項を記入してください。（ラベルに印字されている「様」は書き換えないでください。）

② 受付期間： 2024年5月7日（火）～5月10日（金）（ただし、土日祝は除く。）

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時（ただし、11時30分～12時30分は除く。）

受付場所： 工学研究科教務課入試係（U1M棟<管理棟>1階）

（書類を封筒等に入れる必要はありません。）

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学研究科教務課入試係

（必ず「書留」または「簡易書留」郵便とし、封筒の表に「予備審査申請」と朱書き）

上記受付期間内の郵送による到着分を受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも2024年5月8日（水）以前の日本国内発信局消印のある「書留」または「簡易書留」郵便に限り受け付けます。また、日本国外から発送する場合は、あらかじめ入試係へ問い合わせてください。

(3) 予備審査の方法

推薦入学特別選抜履歴書及び推薦書等をもとに学部課程において履修した専門分野の学力を勘案して、研究構想力と基礎的学力の判定を行います。

(注1) 予備審査の結果は、2024年5月31日(金)までに、本学工学部在籍者には志願専攻・コースの事務室を通じて、本学工学部在籍者以外には郵送によりお知らせしますので、届かない場合は出願期日に間に合うように入試係へ問い合わせてください。問合せがない場合には、受領したものと取り扱います。

(注2) 予備審査申請書類については「7.出願書類」欄外の(注1)～(注6)と同様に取り扱いいます。

## 5. 出願手続

予備審査を行わない専攻・コースの志願者又は予備審査を行う専攻・コースの志願者で予備審査を合格した者が出願する場合は、次に示す要領に従って出願受付期間内に出願手続を行ってください。

① 提出書類： 「7. 出願書類」の1～19の書類

(ただし、予備審査に合格した者は、「7. 出願書類」の1、2、14、15、17、18及び19の書類)

② 出願受付期間： 2024年6月3日(月)～2024年6月5日(水)

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時(ただし、11時30分～12時30分は除く。)

受付場所： 工学研究科教務課入試係(U1M棟<管理棟>1階)

(書類を封筒等に入れる必要はありません。)

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学研究科教務課入試係

(必ず「書留」または「簡易書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程推薦入学願書」と朱書き)

上記出願受付期間内の郵送による到着分を受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも2024年6月3日(月)以前の日本国内発信局消印のある「書留」または「簡易書留」郵便に限り受け付けます。また、日本国外から発送する場合は、あらかじめ入試係へ問い合わせてください。

## 6. 検定料

入学検定料は、検定料納入システムを通じてお支払いください。

金額及び納入期限については以下のとおり、支払方法については次ページから記載のとおりです。

【金額】30,000円

※システム利用時に別途発生する手数料は出願者の自己負担となります。

【納入期限】2024年5月20日(月)10時～6月5日(水)15時

# 入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです  
 事前準備、お支払方法についての詳細は検定料納入システム「はじめに」をご確認ください



**STEP 1 事前準備**

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを  
用意してください。

**STEP 2 検定料納入システムにアクセス**

<https://e-apply.jp/n/osaka-u-payment>  
からアクセス

**STEP 3 個人情報の登録**

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①学部、研究科等

②個人情報(氏名・住所等)

③申込登録完了  
受付番号(12桁)は必ず控えてください。  
個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

④入学検定料の支払い方法  
● コンビニエンスストア  
● ペイジー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード

⑤検定料収納証明書  
(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



海外居住者は、クレジットカード及び利用可能なネットバンキングでの決済のみとなります。日本国外のコンビニエンスストアでの決済は出来ません。

# STEP

# 4



## 入学検定料の支払い

検定料の支払いには期限があり、申込日を含めて4日間です。支払期限を過ぎた場合は自動的にキャンセルとなり支払いができませんので、ご注意ください。  
申込み時点で受付終了まで4日間ない場合は、申込み終了日が優先されます。

### 1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

### 2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

### 3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ。  
FamilyMart



### 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

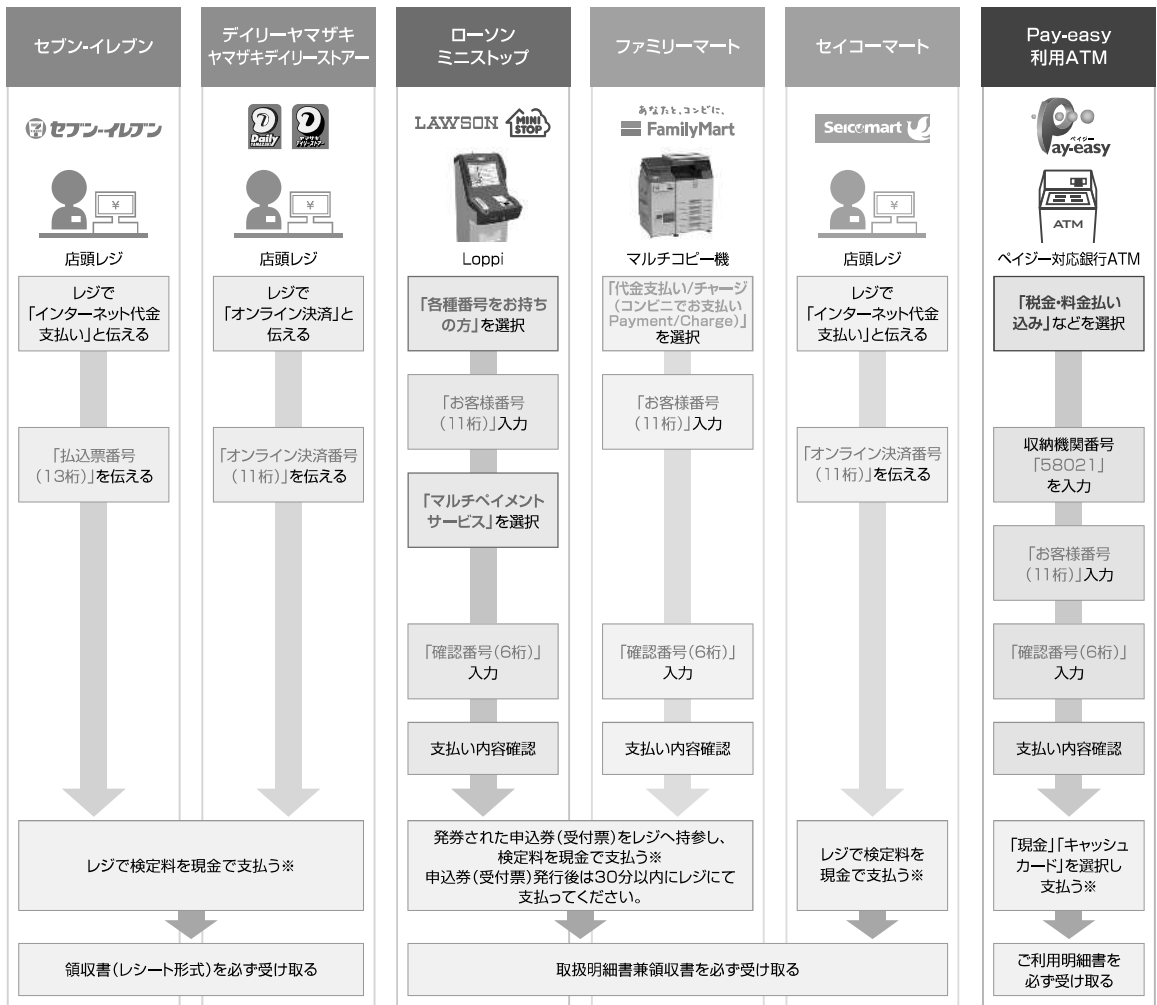
個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

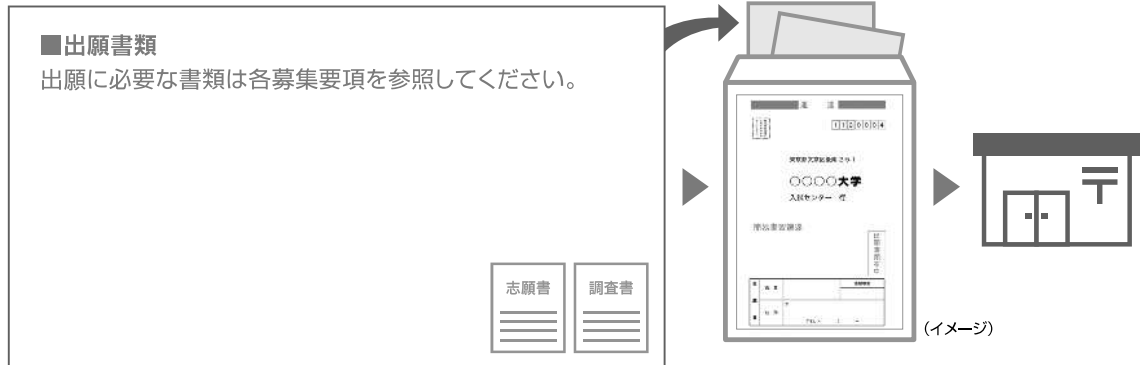
## STEP

# 5



## 検定料収納証明書の印刷

登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類をA4サイズで印刷し、出願書類を出願期間内に郵送してください。※郵送先、出願締切日は各募集要項を参照してください。



※いったん受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。

※なお、出願書類が大阪大学に到着したかどうかに関する問合せについては、一切応じませんので、各自郵便局等で確認してください。

## 〈支払完了〉

### 登録時の 注意点

出願は学生募集要項記載の出願書類と検定料収納証明書を併せて郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

### ●被災者に対する検定料免除について

大阪大学では、大規模災害における被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、入学者選抜において検定料免除の特別措置を講じます。

※科目等履修生等の非正規学生の入学者選抜は対象外です。

詳しくは大阪大学ホームページ(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>)を確認してください。

なお、この場合、検定料納入システムは利用できません。この場合の出願については本紙に記載の問合せ先に確認してください。

### ●検定料の返還について

納入された検定料は次の場合を除き返還できません。返還請求方法は、本紙に記載の問合せ先に確認してください。

- (a) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
- (b) 検定料を誤って二重に納入した場合

### <本サイト及び操作に関するお問い合わせ先>

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社ディスコ）

TEL：0120-202-079 E-Mail：cvs-web@disc.co.jp

※入試及び大学に関してのご質問にはお応えできません。

※電話でのお問合せは日本語対応のみです。

### <入試に関するお問い合わせ先>

入試に関するご質問は、募集要項に記載の大学連絡先へ問い合わせてください。

## 7. 出願書類

書 類	内 容
1. 入学願書	所定の様式に所要事項を記入してください。
2. 検定料収納証明書 ※国費外国人留学生として入学する予定の者は振込及び提出不要	検定料収納証明書の PDF ファイルを A4 サイズで印刷して提出してください。
3. 履歴書 (様式 2)	所定の様式に所要事項を記入してください。
4. 志望理由書 (様式 3)	所定の様式に所要事項を記入してください。
5. 推薦書又は自己推薦書 (様式 4 又は様式 5)	推薦書に、所属の長等、出願者を熟知している者が記入し提出してください (受入側教員の推薦は認められません)。 なお、推薦書が得られない場合にあつては、自己推薦書に自己を推薦する理由を書いて提出してください。 ※推薦書 (様式 4) については、工学研究科 HP に掲載の Word データでも作成できますが、様式は変更しないでください。
6. 研究希望調書 (様式 6)	所定の様式 (A4 版 2 枚) に所要事項を記入してください。
7. 希望講座・領域等調書 (様式 7)	「14. 講座・領域等一覧表」から、希望講座等を選択して所定の用紙に記入してください。 ※産学官共創コースを志願する場合、「希望講座・領域等調書 (様式 7)」には、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースの希望講座・領域等を記入してください。 併せて、産学官共創コースのホームページ ( <a href="http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/">http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/</a> ) 掲載の産学官共創コースにおける志望領域の申請書を提出してください。 ※電気電子情報通信工学専攻イノベーションデザインコース (産学官共創コース) の志願者は「希望講座・領域等調書 (様式 7)」のみを提出してください。
8. 出願承諾書 (様式 8) ※日本人又は在留資格「永住者」は提出不要	外国人留学生として入学予定の者は受入予定指導教員及び専攻長に記入してもらってください。
9. 成績証明書	最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。また、高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。 大学 3 年次編入学した者は、編入前に在籍した教育機関の成績証明書も併せて提出してください。ただし、本学工学部に 3 年次編入学し、卒業または在籍している場合は本学の成績証明書のみ提出してください。 ※大学院を修了又は修了見込の者は、大学院の成績証明書に加えて、大学学部時代の成績証明書も提出してください。 ※偽造防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要
10. 卒業 (見込) / 退学証明書	出身大学長又は学部長の発行した卒業 (見込) 証明書を提出してください。最終出身学校を退学した場合、退学証明書及び直前の出身学校の卒業証明書を提出してください。
11. 学士の学位授与 (予定) 証明書 ※出願資格 (2) 以外の者は提出不要	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。なお、大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、在籍する教育機関の長の学位授与申請予定証明書を提出してください。
12. 在留カード (両面) の写し ※日本人は提出不要	日本国籍を有しない外国人志願者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面を A4 サイズの用紙にコピーして提出してください。
13. パスポートの写し ※日本人は提出不要	顔写真、氏名、国籍が記載されたページの写しを提出してください。
14. 国費外国人留学生証明書 ※国費外国人留学生ではない者及び本学工学部在籍国費外国人留学生は提出不要	出願時に、本学工学部以外の日本国内の大学・高等専門学校において国費外国人留学生の者は、在籍大学・高等専門学校発行の、国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。

<p>15. 英語能力証明書</p> <p>■TOEIC Listening &amp; Reading Test 公式認定証 または ■TOEFL iBT 受験者用控えスコア票 &lt;Test Taker Score Report&gt; または ■IELTS 成績証明書</p>	<p>表 1 に示す各専攻・コースが指定する英語能力証明書のいずれか 1 つの<u>原本とその写し (A4・白黒可)</u>を提出してください。原本と写しを照合後、原本は返却します (持参: その場で返却。郵送: 受験票送付時に併せて送付)。原本のみを提出した場合は返却しません。</p> <p>■【TOEIC】の場合 デジタル公式認定証 (TOEIC 申込サイトからダウンロード可能な PDF) の印刷版 (A4・カラー) を原本として提出可能です。</p> <p>■【TOEFL】の場合 ETS アカウント上でダウンロードできる Test Taker Score Report の印刷版を原本として提出可能です。</p> <p>いずれの試験とも原則として <u>2022 年 7 月 1 日から 2024 年 4 月 30 日</u>までに受験した公開テストを有効としますので、出願期間までに必ず間に合うよう計画的に受験してください。(ただし、2024 年 5 月 1 日以降に受験したものであっても出願期間中に原本を提出できる場合に限り受け付けます。)</p>
<p>16. 連絡受信先ラベル ※本学工学部在籍者は提出不要</p>	<p>所定の用紙に所要事項を記入してください。(ラベルに印字されている「様」は書き換えないでください。)</p>
<p>17. 受験票・写真票</p>	<p>所定の用紙に写真 (3 か月以内に撮影) を貼付し、所要事項を記入してください。</p>
<p>18. 受験票送付用封筒 ※日本国外に居住している者は提出不要</p>	<p>所定の用紙に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、<u>長形 3 号</u>の封筒 (120mm × 235mm) に貼付し、<u>94 円分の切手</u>を貼付してください。(用紙に印字されている「様」は書き換えないでください。)</p>
<p>19. 合否結果送付用封筒 ※日本国外に居住している者は提出不要</p>	<p>所定の用紙に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、<u>長形 3 号</u>の封筒 (120mm × 235mm) に貼付し、<u>434 円分の切手</u>を貼付してください。(用紙に印字されている「様」は書き換えないでください。)</p>

(注 1) 書類を手書きする場合は、全て黒のペン又はボールペン (消せるボールペンは使用不可) で記入してください。

(注 2) 出願書類に不備がある場合は、受理できません。

(注 3) 出願手続後は、記載事項の変更を認めません。

(注 4) 入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合は、改姓名の事実を証明できる書類 (戸籍抄本等) を添付してください。

(注 5) 「提出不要」と明記しているものを除き、該当する書類は全て提出する必要があります。

(注 6) 「返却します」と明記しているものを除き、提出された書類は一切返却しません。

(注 7) 受験票は、出願手続後受験票送付用封筒にて郵送します。なお、日本国外に居住している者へは、志望専攻・コースから配付します。2024 年 6 月 24 日 (月) までに届かない場合は、入試係へ問い合わせてください。



【表 1. 英語能力証明書、専攻・コース別指定】

各専攻・コースにおいて✓を付した証明書を受理する。

※産学官共創コースの志願者は、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースを参照してください。

専攻	コース	TOEIC	TOEFL※1	IELTS
生物工学	生物工学	✓	✓	✓
物理学系	精密工学	✓	✓	✓
	応用物理学 ※2	✓	✓	✓
機械工学	機械工学	✓	✓	
マテリアル生産科学	マテリアル科学	✓	✓	
	生産科学	✓	✓	
電気電子情報通信工学	電気工学	✓	✓	
	情報通信工学	✓	✓	
	量子情報エレクトロニクス	✓	✓	
	イノベーションデザイン	✓	✓	
環境エネルギー工学	環境工学	✓	✓	
	エネルギー量子工学	✓	✓	
地球総合工学	船舶海洋工学	✓	✓	✓
	社会基盤工学	✓	✓	✓
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング	✓	✓	✓

【注意事項】

以下の英語試験の成績証明書は受理しません。

TOEIC : TOEIC-IP (団体特別受験制度で受験したもの)、TOEIC® Speaking & Writing Test、TOEIC® Speaking Test、TOEIC Bridge® Test

TOEFL : TOEFL-ITP (団体特別受験制度で受験したもの)

IELTS : General Training Module

※1 受験者用控えスコア票 (Test Taker Score Report) が発行されない国・地域で TOEFL を受験し、そのスコアを利用する場合は、出願期間の 6 週間前までに入試係へ問い合わせてください。

※2 物理学系専攻応用物理学コースの志願者及び当コースの学力試験を受ける産学官共創コースの志願者で、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、英語能力証明書の提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に入試係へ問い合わせてください。

## 8. 入学者選抜

入学者選抜は、次に示す学力試験の成績及び出願書類の選考結果を総合して行います。

※産学官共創コースの志願者は、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースを参照してください。

専攻	コース	実施日	試験時間	学力試験等
生物工学	生物工学	7月3日(水)	11:00~12:00	小論文
			14:00~15:00	面接及び口頭試問
物理学系	精密工学	7月3日(水)	13:00~	口頭試問
	応用物理学	7月3日(水)	未定	口頭試問
機械工学	機械工学	7月3日(水)	10:30~	口頭試問
マテリアル生産科学	マテリアル科学	7月3日(水)	10:00~	口頭試問
	生産科学	7月3日(水)	13:00~	口頭試問
電気電子情報通信工学	電気工学	7月3日(水)	未定	口頭試問
	情報通信工学	7月3日(水)	未定	口頭試問
	量子情報エレクトロニクス	7月3日(水)	未定	口頭試問
	イノベーションデザイン	7月3日(水)	未定	口頭試問
環境エネルギー工学	環境工学	7月3日(水)	13:00~	口頭試問
	エネルギー量子工学			
地球総合工学	船舶海洋工学	7月3日(水)	10:30~11:30	小論文
			13:30~	口頭試問
	社会基盤工学	7月3日(水)	10:00~11:30	小論文
			14:30~	口頭試問
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング	7月3日(水)	12:30~	口頭試問

(注1) 機械工学専攻の志願者には、筆記試験を課す場合があります。

(注2) 試験場所等の詳細な注意事項については、2024年6月26日(水)午後から工学研究科ホームページ

( [https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions/](https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/) ) の大学院入試情報に掲載しますので、

各自確認してください。

## 9. 合格者発表

合格者発表は、以下の日時に工学研究科ホームページ  
( [https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g\\_admissions/](https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/) ) の大学院入試情報において行います。また、合格者発表後、合否結果を郵送します。

なお、電話又はメールによる合否の問合せには一切応じません。

**合格者発表日時： 2024年7月12日（金）14時**

※発表後約30分間は、回線が混み合い接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

## 10. 入学料及び授業料・入学手続

- (1) 入学料： 282,000 円
  - (2) 授業料： 年額 535,800 円〔半期 267,900 円〕
  - (3) 入学手続期間は、2025年3月中旬を予定しています。なお、入学手続書類は、2025年2月中旬以降に発送予定です。
- (注1) 入学料及び授業料の納入時期等の詳細は、入学手続書類案内の際にお知らせします。
- (注2) 国費外国人留学生として入学（在学）する場合は、入学料及び授業料の支払いは不要です。
- (注3) 入学料又は授業料の金額は改定する場合があります。
- また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 11. 試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先）

専攻	コース	電話番号	E-mail/URL
生物工学	生物工学	06-6879-7449	E-mail: jimubio@bio.eng.osaka-u.ac.jp https://www.bio.eng.osaka-u.ac.jp/
物理学系	精密工学	06-6879-7300	E-mail: prec-office@prec.eng.osaka-u.ac.jp http://www.prec.eng.osaka-u.ac.jp/
	応用物理学	06-6879-7861	E-mail: www-apadm@ap.eng.osaka-u.ac.jp http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/
機械工学	機械工学	06-6879-4486	E-mail: mechjimushitsu@mech.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mech.eng.osaka-u.ac.jp/
マテリアル生産科学	マテリアル科学	06-6879-7508	E-mail: mat-jim@mat.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/
	生産科学	06-6879-7569	E-mail: pseoffa@mapse.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/
電気電子情報通信工学	電気工学	06-6879-7719	E-mail: in-nyuushi@eei.eng.osaka-u.ac.jp http://www.eei.eng.osaka-u.ac.jp/
	情報通信工学		
	量子情報エレクトロニクス		
環境エネルギー工学	環境工学	06-6879-7682	E-mail: env_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp https://see.eng.osaka-u.ac.jp/
	エネルギー量子工学		E-mail: erg_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp https://see.eng.osaka-u.ac.jp/
地球総合工学	船舶海洋工学	06-6879-7595	E-mail: naoe-jimu@naoe.eng.osaka-u.ac.jp http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/
	社会基盤工学	06-6879-7628	E-mail: civil-jimu@civil.eng.osaka-u.ac.jp http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/
ビジネスエンジニアリング	ビジネスエンジニアリング	06-6879-4075	E-mail: be_admission@mit.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/

(注) 産学官共創コースの試験内容は、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースと同じです。詳細は、産学官共創講座事務局（E-mail: [creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp)）までお問い合わせください。

## 12. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」、「入学手続」及び入学後に履修可能な教育プログラム等の業務を行うために利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うことにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

## 13. 注意事項

- (1) 入学願書の履歴、入学資格につき虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として 2024 年 4 月 30 日（火）までに入試係へ問い合わせてください。
- (3) 試験当日、自動車・バイクでの入構はできません。電車・バスを利用してください。
- (4) 予備審査又は出願に際して不明な点があれば、入試係へ問い合わせてください。

## 14. 講座・領域等一覧表

各領域の詳細は、各専攻 HP 又は「工学研究科研究室総覧」のサイトよりご確認ください。

工学研究科研究室総覧：<https://www.eng.osaka-u.ac.jp/department/>

以下に記載の領域等に変更が生じる可能性があるため、出願前に各専攻 HP 等で最新の情報を確認してください。

### 【生物工学専攻】

#### 生物工学コース

- ・生物化学工学領域
  - ・高分子バイオテクノロジー領域
  - ・微生物機能工学領域
  - ・生物資源工学領域
  - ・細胞工学領域
  - ・生命環境システム工学領域
  - ・生物プロセスシステム工学領域
- <協力講座>
- ・応用微生物学講座（生物工学国際交流センター）
  - ・分子微生物学講座（生物工学国際交流センター）
  - ・蛋白質結晶学分野（蛋白質研究所）

### 【物理学系専攻】

#### 精密工学コース

- <精密工学講座>
- ・機能材料領域
  - ・原子制御プロセス領域
  - ・先進デバイス工学領域
  - ・ナノ表面界面工学領域
  - ・超精密加工領域
  - ・量子計測領域
  - ・計算物理領域
- <協力講座>
- ・ナノ製造科学領域（精密工学研究センター）

#### 応用物理学コース

- <応用物理学講座>
- ・ナノ物性理論領域
  - ・ナノフォトニクス領域
  - ・ナノ・バイオフィotonics領域
  - ・先端物性工学領域
  - ・ナノ物性工学領域
  - ・ナノバイオ工学領域
  - ・ナノエレクトロニクス領域
  - ・フォトニック情報工学領域
  - ・ナノマテリアル領域
  - ・ナノスペクトロスコーピー領域
  - ・表面ナノ物性領域
  - ・分子フォトニクス領域
- <協力講座>
- ・先進電子デバイス研究分野（産業科学研究所）

## 【機械工学専攻】

### 機械工学コース

#### <機能構造学講座>

- ・機能材料力学領域
- ・マイクロ動力学領域
- ・複合流動工学領域
- ・ナノ構造工学領域
- ・材料評価工学領域

#### <熱流動態学講座>

- ・流体物理学領域
- ・非線形非平衡流体力学領域
- ・エネルギー反応輸送学領域
- ・燃焼工学領域
- ・マイクロ熱工学領域

#### <統合設計学講座>

- ・設計工学領域
- ・精密加工学領域
- ・ナノ加工計測学領域
- ・サステナブルシステムデザイン学領域
- ・人間支援工学領域

#### <知能制御学講座>

- ・機械動力学領域
- ・動的システム制御学領域
- ・知能機械システム学領域
- ・生命機械融合ウェットロボティクス領域
- ・宇宙機ダイナミクス制御領域

#### <協力講座>

- ・レーザプロセス学分野（接合科学研究所）
- ・複合化機構学分野（接合科学研究所）

#### <協力領域>

- ・フィールドロボティクス部門（コマツみらい建機協働研究所）

## 【マテリアル生産科学専攻】

### マテリアル科学コース

#### <材料物性学講座>

- ・量子材料物性学領域
- ・材料極微プロセス工学領域
- ・表界面物性学領域
- ・材料評価学領域

#### <材料エネルギー理工学講座>

- ・材料理化学領域
- ・計算材料設計学領域
- ・材料熱力学領域
- ・材料設計・プロセス工学領域

#### <構造機能制御学講座>

- ・材料精製工学領域
- ・材料組織制御工学領域
- ・結晶塑性工学領域
- ・結晶成長工学領域

#### <材料機能化プロセス工学講座>

- ・環境材料学領域
- ・生体材料学領域
- ・材質形態制御学領域

#### <協力講座>

- ・ナノ構造・機能評価研究分野（産業科学研究所）
- ・先端ハード材料研究分野（産業科学研究所）
- ・生命科学研究分野（超高压電子顕微鏡センター）
- ・接合界面機構学分野（接合科学研究所）
- ・エネルギー変換機構学分野（接合科学研究所）

### 生産科学コース

#### <生産プロセス講座>

- ・加工物物理学領域
- ・溶接・接合プロセス工学領域
- ・接合界面制御学領域
- ・プロセスメタラジー領域
- ・ノベル・ジョイニング領域
- ・エネルギー形態制御領域

#### <構造化デザイン講座>

- ・プロセスメカニクス領域
- ・信頼性評価学領域
- ・材料構造健全性評価学領域
- ・計測・検査工学領域

#### <システムインテグレーション講座>

- ・プロセスインテグレーション領域
- ・デジタル生産システム領域
- ・システムデザイン領域

#### <協力講座>

- ・溶接・接合機能設計講座（接合科学研究所）
- ・プラズマ工学講座（接合科学研究所）
- ・微細接合工学講座（接合科学研究所）
- ・接合組織デザイン講座（接合科学研究所）



## 【電気電子情報通信工学専攻】

### 電気工学コース

#### <システム・制御工学講座>

- ・インテリジェントシステム領域
- ・パワーシステム領域
- ・センシングシステム領域

#### <先進電磁エネルギー工学講座>

- ・極限プラズマ工学領域
- ・プラズマ生成制御工学領域
- ・高エネルギー密度工学領域
- ・先進ビームシステム工学領域

#### <協力講座>

- ・光・量子システム研究領域（レーザー科学研究所）
- ・放射流体プラズマ研究領域（レーザー科学研究所）
- ・非線形光学応用研究領域（レーザー科学研究所）

### 情報通信工学コース

#### <通信ネットワーク工学講座>

- ・ロバストネットワーク工学領域
- ・フォトニックネットワーク工学領域

#### <通信システム工学講座>

- ・メディア統合コミュニケーション工学領域
- ・サイバーセキュリティ工学領域
- ・ワイヤレスシステム工学領域

#### <光電波工学講座>

- ・極限光通信工学領域

#### <協力講座>

- ・知能推論研究分野（産業科学研究所第1研究部門：情報・量子科学系）
- ・知識科学研究分野（産業科学研究所第1研究部門：情報・量子科学系）

### 量子情報エレクトロニクスコース

#### <創製エレクトロニクス材料講座>

- ・新奇機能マテリアル創製領域
- ・マテリアルイノベーション領域
- ・ナノマテリアルエレクトロニクス領域
- ・機能創製バイオマテリアル領域

#### <エレクトロニクスデバイス講座>

- ・有機エレクトロニクス領域
- ・量子フォトニクス領域
- ・情報デバイス領域

#### <集積エレクトロニクス講座>

- ・計算量子情報エレクトロニクス領域
- ・集積情報デザイン領域

#### <協力講座>

- ・量子システム創成研究分野（産業科学研究所）
- ・電子顕微鏡理論研究分野（超高压電子顕微鏡センター）
- ・テラヘルツフォトニクス研究領域（レーザー科学研究所）
- ・レーザーサイエンス研究領域（レーザー科学研究所）
- ・複合フォトニクス研究領域（レーザー科学研究所）

## 【環境エネルギー工学専攻】

### 環境工学コース

#### <環境システム学講座>

- ・環境マネジメント学領域
- ・共生環境評価領域

#### <共生環境デザイン学講座>

- ・共生都市計画学領域
- ・環境設計情報学領域

#### <環境資源・材料学講座>

- ・生物圏環境工学領域
- ・環境材料学領域（接合科学研究所）
- ・スマートグリーンプロセス学領域（接合科学研究所）

#### <共生エネルギーシステム学講座>

- ・地球循環共生工学領域
- ・都市エネルギーシステム領域

### エネルギー量子工学コース

#### <環境資源・材料学講座>

- ・量子線生体材料工学領域
- ・量子ビーム材料プロセス工学領域（産業科学研究所）
- ・エネルギー材料学領域（産業科学研究所）

#### <共生エネルギーシステム学講座>

- ・環境エネルギー材料工学領域

#### <量子エネルギー工学講座>

- ・原子力社会工学領域
- ・量子ビーム応用工学領域
- ・量子システム化学工学領域
- ・システム量子工学領域
- ・量子エネルギー基礎工学領域
- ・量子反応工学領域
- ・レーザー応用工学領域（レーザー科学研究所）
- ・レーザーエネルギー工学領域（レーザー科学研究所）

## 【地球総合工学専攻】

### 船舶海洋工学コース

#### <船舶工学講座>

- ・船舶知能化領域
- ・船舶海洋構造工学領域
- ・船舶海洋流体工学領域

#### <海洋システム工学講座>

- ・海洋材料生産工学領域
- ・海洋空間開発工学領域
- ・海洋利用基盤工学領域

#### <協力講座>

- ・数理解析学分野（接合科学研究所）

### 社会基盤工学コース

#### <社会基盤工学講座>

- ・社会基盤設計学領域
- ・構造工学領域
- ・地盤工学領域

#### <社会システム学講座>

- ・国土開発保全工学領域
- ・みず工学領域
- ・交通・地域計画学領域
- ・社会基盤マネジメント学領域

#### <協力領域>

- ・接合設計学分野（接合科学研究所）

## 【ビジネスエンジニアリング専攻】

### ビジネスエンジニアリングコース

- ・テクノロジーデザイン講座
- ・技術知マネジメント講座

- ・産学官共創講座 フェューチャー・デザイン領域

### 産学官共創コース

- ・産学官共創講座 産学官共創領域



《各種問合せ・請求先》

大阪大学工学研究科教務課入試係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

Tel : (06) 6879-7226 (ダイヤルイン)

E-mail : iso-staff@eng.osaka-u.ac.jp

<https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/>